

湖北地域しょうがい者生活支援センター あ〜と

法人理念 すべてはあなたの「笑顔」のために

～その人らしく 地域で暮らしたい 働きたい

楽しみたい を応援します～



放課後等ディサービス事業

定員 10名/日

時間 平日:学校終業後～18時

休日:9時～17時(時間延長は要相談)

送迎 事業所より片道30分圏内(状況により、家族送迎を依頼することあり)

対象児 小学校1年生～高校3年生

支援プログラム (5領域)

健康・生活

くつのおし入れ、カバンの準備、片付け、手洗い、着替えなど一人でできることを増やそう

また、家での役割を担うため、お手伝いができるように練習しよう

運動・感覚

トランポリンやボールを使った粗大運動やハサミやボタンはめなどの微細運動にチャレンジしよう

苦手なもの、好きなものを一緒に探そう



言語・コミュニケーション

要求できる、伝える、かなうことを体験しよう

言語だけにこだわらず、いろんな方法を試してみよう

人間関係・社会性

長期休暇中は、地域に飛び出し、ルールやマナー、お礼、挨拶など社会生活の知識を学ぼう

電車やバスに乗る、工場見学、地域の方々との触れ合いを経験するよ



認知・行動

本人がわかるスケジュールの形や環境設定を一緒に考えていこう

卒業後を見据えていろんなスキルを少しずつ積み上げていこう



★移行支援…家庭や地域での生活、ライフステージの切り替え時などを意識しながら活動を組み立てます。

★職員研修…全職員研修参加を義務付けています。実践研修の受講を推進しています。

★家族支援…個々の相談に応じるとともに、年1回家族交流会を開催しています



タイムスケジュール

[平日]



個々の特性や状況に応じて、自立課題や活動内容は変化します。
基本的に平日は個々の活動に焦点を当てて組み立てています。
下校時間が早いときは、音楽や運動、制作活動などをやってみよう。
自由時間は中庭でボール遊びしたり、プレイルームでままごと遊びや絵本を読んだりして楽しく過ごそう。

[土曜・長期休暇]



休日は、集団活動をメインに組み立てています。
メリハリをつけるため、公民館など公共施設を活用しながら、圏域内を中心に外出することが多いかな。
本人の体調や状況に合わせて、無理しない程度にチャレンジしていこう。

あ〜との特長

POINT 1

多様な施設の経験

- ・異動により入所やグループホーム、就労B型や生活介護事業所を経験した職員が在籍
- ・将来の姿を想像しながら支援の組み立てます。

POINT 2

切れ目のない支援

- ・サービス利用開始前には、園や療育教室を訪問、また、卒業前には移行先の事業所から見学に来ていただき、スムーズにスタートできることを目指します。

POINT 3

生活全体を見る

- ・同じ事務所フロアに居宅事業所や相談事業所があることで、本人や家族の生活全体に視野を広げて支援できることです。

